

1) 周年行事

おはようございます。避難訓練・着任式に続いて、2学期のスタートに当たり、気持ちを切り替えましょう。

今年の2学期はいつもの2学期と違います。11月に大泉桜高校創立20周年行事があります。記念式典に続いて、生徒会や部活動の発表を予定しています。関係する生徒のみなさん、準備をお願いします。高校在学中に節目の年に当たることはなかなかないことです。サクラの歴史を感じながら、みんなで創立20周年を祝いましょう。

2) 今日のテーマ「夢をかなえる2学期」

さて、今日は「夢をかなえる2学期」というテーマでお話をします。「どこかで聞いたことあるな」とか「またあの話か」と思うかもしれません。そうです、1学期終業式でもお話ししました。7月の演劇鑑賞教室について、今回はみなさんの感想も紹介しながらお話しします。

2学期は、まずは秋桜祭がありますが、3年生は、同時並行で進路決定に向けての動きが本格化します。すでに夏休みも、個人面談、志望理由書の作成、会社見学、面接練習などを進めてきている様子、私も見てきました。指定校推薦の出願、大学入学共通テストの出願など、今週さっそく動き出します。そして2学期、3学期と進路決定に向けて進んでいきます。1・2年生も、来年の科目選択に向けて動きが本格化します。自分の進路に合った科目選択をしますが、そもそもどんな進路を目指すのか、そこから考えていく人もいるでしょう。みんなが進路に向かって本格的に動くのが2学期ですから「夢をかなえる2学期」というわけです。

3) アンケート

演劇鑑賞教室で見た「夢をかなえるゾウ」は、みなさんと同じように、進路に悩む高校生が主人公でした。みなさんには、劇を見た感想をClassiに投稿してもらいました。「全員必ず提出」ではなかったのですが、それでも200人が書いてくれました。私も全部読みました。

大きく分けると三つの傾向があります。一つは、表現や演出についての感想、もう一つは進路に悩む主人公について、もう一つは主人公が親に自分の進路希望を伝えることについて、でした。表現や演出についての感想は、さすがサクラ生だなあ、と思いました。照明の当て方とか、舞台の上下の使い方、ガネーシャが出てくる押し入れの装飾とか、表現効果について分析的に見ている感想が印象的でした。

4) 主人公の進路決定

続いて、主人公が進路を見つける姿についてですが、具体的にいくつかの意見を紹介していきます。

- ・はきはきとした声と、主人公が高校生であるという共感しやすい内容に、すぐに惹き込まれました。自分の夢に向かって考え、これから選択していく私たちに、夢を挫折しかけるというストーリーはとても深く心に刺さりました。しかし、印象に残った分、自分の夢をより真剣に考え、真面目に本気で向き合っていこうと思えることができました。たとえ挫折を経験したとしても、その後どうしていくのかという改善策や、挫折によって新たに知ることのできる物事が存在するのだと学ぶことができました。
- ・これからの高校生活で色んなことがあってもネガティブな考えで引きずって行くよりも、ポジティブに考えて今自分にできることをやった方がいいと思いました。何が起きてもそれは自分にとって何か学びがあるんだと思うことが大切なんだと思います。
- ・運がいいと思うと本当に運がよくなるのは本当にあると思った。逆に、自分なんかだめだと思っていたら本当にダメになってしまうと思う。思い込みしだいで結構人生って変わるんだなと思うと何か将来楽しみになってきた。

他にもまだまだ紹介したいところですが、今の感想を聞いて、みなさんはどう思ったでしょうか。「何があっても、運がいい」と思えるような前向きな、ポジティブな気持ちで、2学期をスタートしていきましょう。

5) 進路の相談

続いて、主人公が自分の夢について親に打ち明けることについて触れた感想を紹介します。

- ・主人公の夢を叶えたいという気持ちやなかなか親に相談できない、共感してもらえないというシーンが私にも重なるところがあり、感情移入して見る事が出来ました。夢を叶えたいけど、他の人に否定されたり、どうしても自分では叶えられないなどの現実を見てしまった時でも諦めず、いくら挫折を味わおうとも自分の夢の為に立ち直っていく。ということを感じました。私達高校生だけとも限らず、夢を持っている人たちへのメッセージのようなものを感じました。勉強になったことも沢山あります。私も夢を諦めず、頑張っていきたいと思いました。
- ・私は、気の持ち方によって見えなかったものが見えることもあるということと、本音を飲み込まずしっかり話すことの大切さを知りました。神様が出てきたり、あの作品自体には多少SFじみたところもありましたが、主人公の根底にかかわる分岐点(たとえば、部活の仲間に夢を打ち明けたところや、父親と話をしたところ)は、神様の力に頼らず、あくまで主人公の意見をぶつけ、それによって新たな希望を見出していたため、結局のところ、自分自身で何か行動を起こすことこそが、状況を打開したり、夢へと踏み出すために必要なのだな、と思いました。作品の中で、努力も何もせず自分を卑下し続けることについて語るようなシーンがありましたが、他人ごとではないな、と思いました。自分も思い詰めてしまい、自分を卑下し続け、結局やってもいけないことをあきらめてしまうことがたびたびあるので、善は急げと、

行動を起こすことが大切なのだな、と思いました。

- ・一番印象に残ったのは、自分の夢を相手にはっきり伝える場面です。夢を持つことも大事だけど、それを人に伝える勇気や覚悟が必要なんだと感じました。自分の夢を口に出すのは少し恥ずかしかったり、否定されたらどうしようと不安になることもあります。でも、この主人公のように、思い切って伝えることで、本当の意味で夢に向かって進めるんだと思いました。

三つの意見を紹介しましたが、みなさんはどう思いますか？すでに進路について三者面談を終えた人も多いでしょうが、改めて、家族と自分の進路について話しているでしょうか。「夢は口に出せばかなう」という言葉もあります。他人に伝えるだけでなく、自分に伝える、自分に言い聞かせて進路希望を自覚することが、前向きに進む力になるのではないのでしょうか。

6) 不安や悩みを話してみよう。

今までも、始業式や終業式で、不安や悩みを話してみよう、という話を私はしてきました。進路についてもぜひ先生や保護者に相談しましょう。先日、Classi で全生徒に「不安や悩みを話してみよう」という文部科学大臣のメッセージを掲載しました。まだ「見ました」を押していない人は、ぜひ読んで「見ました」を押してください。

1学期の終業式には「つらくなったら、大人を頼っていいんだよ。」という話をしました。長い2学期ですが「何があっても、運がいい」を合言葉に、それぞれの進路決定、進路選択に進んでください。

最後になりますが、演劇鑑賞教室の感想を書ってくれた人たち、ありがとうございました。私も参考になりましたし、元気をもらうことができました。この場を借りてお礼を言います。

以上で私の話を終わります。